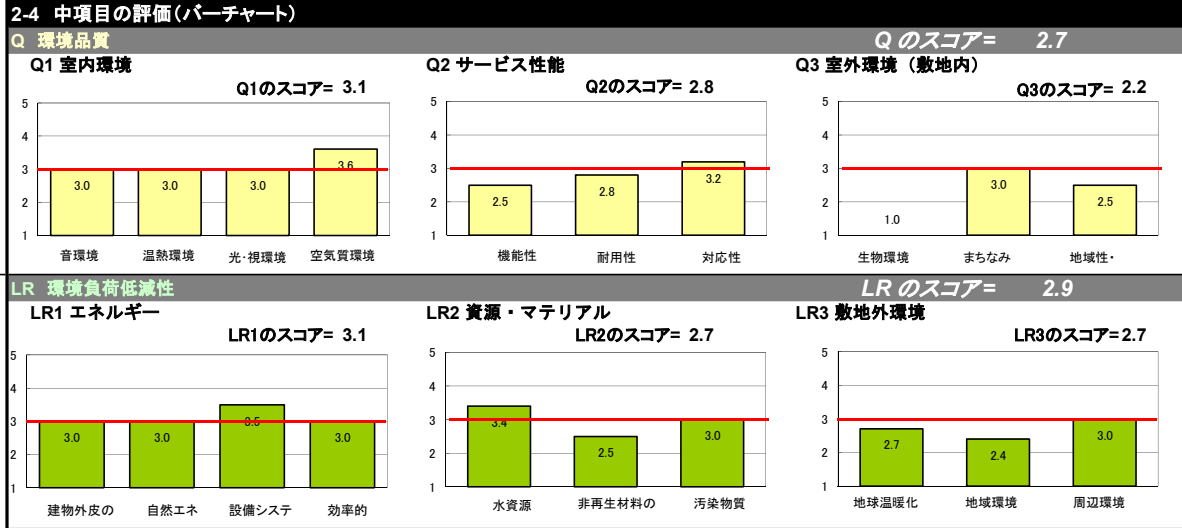
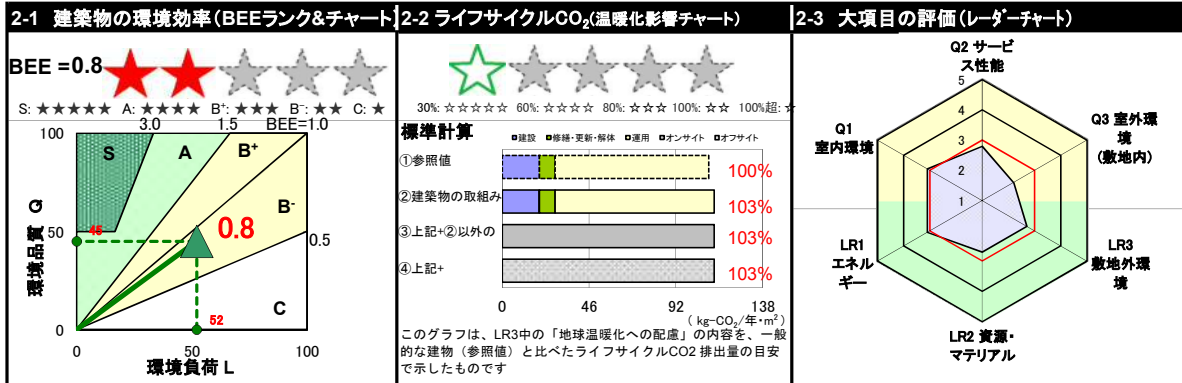


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) ロフティ春日井中央公園	階数	地上12階
建設地	愛知県春日井市鳥居松町四丁目75	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域	平均居住人員	88人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年4月 竣工	評価の実施日	2019年2月7日
敷地面積	598 m <sup>2</sup>	作成者	澤田 勉
建築面積	244 m <sup>2</sup>	確認日	2019年2月7日
延床面積	2,204 m <sup>2</sup>	確認者	澤田 勉



3 重点項目	
<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">2.7</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p>外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">18.9 %</p> <p>建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">2.6</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p>&lt;外装材に使用した地域性のある材料&gt;</p> <p>なし</p> <p>&lt;建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材&gt;</p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
 LR-3 1 地球温暖化への配慮  
 ②資源の有効活用  
 Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
 LR-2 2 非再生性資源の使用量削減  
 ③敷地内の緑化  
 Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部							建物全体・共用部		居住・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄			評価点	評価点	重み 係数	評価点	評価点	重み 係数	評価点	評価点	重み 係数		
<b>Q 建築物の環境品質</b>															
<b>Q1 室内環境</b>															
<b>1 音環境</b>															
1.1 室内騒音レベル					3.0	3.0	0.15	3.1	3.0	1.00	-	-	-	2.7	
1.2 遮音					3.0	3.0	0.50	3.0	3.0	0.50	-	-	-	3.1	
1.2.1 開口部遮音性能					3.0	3.0	1.00	3.0	3.0	0.30	-	-	-	0.50	
1.2.2 界壁遮音性能					3.0	3.0	-	3.0	3.0	0.30	-	-	-	0.30	
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				Lr-45使用	3.0	3.0	-	4.0	3.0	0.20	-	-	-	0.20	
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)					3.0	3.0	-	3.0	3.0	0.20	-	-	-	0.20	
1.3 吸音					3.0	3.0	-	3.0	3.0	-	-	-	-	-	
<b>2 温熱環境</b>															
2.1 室温制御					3.0	3.0	0.63	3.0	3.0	1.00	-	-	-	3.0	
2.1.1 室温					3.0	3.0	1.00	3.0	3.0	1.00	-	-	-	1.00	
2.1.2 外皮性能					3.0	3.0	-	3.0	3.0	1.00	-	-	-	1.00	
2.1.3 ソーン別制御性					3.0	3.0	-	3.0	3.0	-	-	-	-	-	
2.2 湿度制御					3.0	3.0	-	3.0	3.0	-	-	-	-	-	
2.3 空調方式					3.0	3.0	0.38	3.0	3.0	-	-	-	-	-	
<b>3 光・視環境</b>															
3.1 昼光利用					3.0	3.0	0.25	3.0	3.0	1.00	-	-	-	3.0	
3.1.1 昼光率					3.0	3.0	0.30	3.0	3.0	0.30	-	-	-	0.30	
3.1.2 方位別開口					3.0	3.0	0.60	3.0	3.0	0.50	-	-	-	0.50	
3.1.3 昼光利用設備					3.0	3.0	0.40	3.0	3.0	0.30	-	-	-	0.30	
3.2 グレア対策					3.0	3.0	0.30	3.0	3.0	0.30	-	-	-	0.30	
3.2.1 昼光制御					3.0	3.0	1.00	3.0	3.0	1.00	-	-	-	1.00	
3.3 照度					3.0	3.0	0.15	3.0	3.0	0.15	-	-	-	0.15	
3.4 照明制御					3.0	3.0	0.25	3.0	3.0	0.25	-	-	-	0.25	
<b>4 空気質環境</b>															
4.1 発生源対策					3.6	4.0	0.25	3.6	3.6	1.00	-	-	-	3.6	
4.1.1 化学汚染物質				F☆☆☆☆を使用	4.0	4.0	0.60	4.0	4.0	0.63	-	-	-	0.63	
4.2 換気					3.0	3.0	0.40	3.0	3.0	0.38	-	-	-	0.38	
4.2.1 換気量					3.0	3.0	0.50	3.0	3.0	0.33	-	-	-	0.33	
4.2.2 自然換気性能					3.0	3.0	-	3.0	3.0	0.33	-	-	-	0.33	
4.2.3 取り入れ外気への配慮					3.0	3.0	0.50	3.0	3.0	0.33	-	-	-	0.33	
4.3 運用管理					-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4.3.1 CO <sub>2</sub> の監視					-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4.3.2 喫煙の制御					-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>															
<b>1 機能性</b>															
1.1 機能性・使いやすさ					1.6	1.0	0.40	2.8	2.8	1.00	-	-	-	2.5	
1.1.1 広さ・収納性					1.0	1.0	0.40	3.0	3.0	0.60	-	-	-	0.60	
1.1.2 高度情報通信設備対応					-	-	-	3.0	3.0	1.00	-	-	-	1.00	
1.1.3 バリアフリー計画		独自			1.0	1.0	1.00	-	-	-	-	-	-	-	
1.2 心理性・快適性					1.0	1.0	0.30	2.5	2.5	0.40	-	-	-	0.40	
1.2.1 広さ感・景観 (天井高)				室内天井高2.5mを確保	-	-	-	4.0	4.0	0.50	-	-	-	0.50	
1.2.2 リフレッシュスペース					1.0	1.0	0.30	2.5	2.5	0.40	-	-	-	0.40	
1.2.3 内装計画					1.0	1.0	1.00	1.0	1.0	0.50	-	-	-	0.50	
1.3 維持管理					3.0	3.0	0.30	-	-	-	-	-	-	-	
1.3.1 維持管理に配慮した設計					3.0	3.0	0.50	-	-	-	-	-	-	-	
1.3.2 維持管理用機能の確保					3.0	3.0	0.50	-	-	-	-	-	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>															
2.1 耐震・免震・制震・制振					2.8	3.0	0.31	-	-	-	-	-	-	2.8	
2.1.1 耐震性(建物のこわれにくさ)					3.0	3.0	0.48	-	-	-	-	-	-	-	
2.1.2 免震・制震・制振性能					3.0	3.0	0.20	-	-	-	-	-	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数					3.0	3.0	0.33	-	-	-	-	-	-	-	
2.2.1 躯体材料の耐用年数					3.0	3.0	0.23	-	-	-	-	-	-	-	
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		②			3.0	3.0	0.23	-	-	-	-	-	-	-	
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					3.0	3.0	0.09	-	-	-	-	-	-	-	
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔					3.0	3.0	0.08	-	-	-	-	-	-	-	
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔					3.0	3.0	0.15	-	-	-	-	-	-	-	
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔					3.0	3.0	0.23	-	-	-	-	-	-	-	
2.4 信頼性					2.4	2.4	0.19	-	-	-	-	-	-	-	
2.4.1 空調・換気設備					1.0	1.0	0.20	-	-	-	-	-	-	-	
2.4.2 給排水・衛生設備					2.0	2.0	0.20	-	-	-	-	-	-	-	
2.4.3 電気設備					3.0	3.0	0.20	-	-	-	-	-	-	-	
2.4.4 機械・配管支持方法		②			3.0	3.0	0.20	-	-	-	-	-	-	-	
2.4.5 通信・情報設備					3.0	3.0	0.20	-	-	-	-	-	-	-	



# 重点項目スコアシート

(仮称) ロフティ春日井中央公園

実施設計段階

■ 使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■ 評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)\_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>2.7</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	2.7	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>2.6</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	2.8	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.5	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>1.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:18.9%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>			(評価ポイント)	<b>1.0</b>
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

### ■ 重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

計画上の配慮事項	
総合	注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 緑を多く配置し周りの環境に馴染むように計画した。
Q1 室内環境	注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 床衝撃音に対し遮音性に優れておりスラブ厚を250mm以上を確保。 南側に窓を設け十分な採光を確保した。
Q2 サービス性能	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 階高を2.96mとり空間にゆとりを持たせた
Q3 室外環境(敷地内)	注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 敷地内に住戸分の駐車スペースを設け、安全性に配慮した
LR1 エネルギー	注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 照明にはLEDを採用
LR2 資源・マテリアル	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 節水便器型を採用
LR3 敷地外環境	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 スムーズに駐車できるように配慮
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。